(様式第２)

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 社会福祉法人定款変更認可申請書 | | | | |
| 申請者 | 主たる事務所の所在地 |  | | |
| ふりがな  名　　　称 |  | | |
| 理事長の氏名 |  | | |
| 申 請 年 月 日 | | 令和　　　年　　　月　　　日 | | |
| 定  款  変  更  の  内  容  及  び  理  由 | 内　　　　　　　　　容 | | | 理　　　由 |
| 変更前の条文 | | 変更後の条文 |
|  | |  |  |
| （裏　面） | | | | |
| 定  款  変  更  の  内  容  及  び  理  由 | 内　　　　　　　　　容 | | | 理　　　由 |
| 変更前の条文 | | 変更後の条文 |
|  | |  |  |

（注意）

　１　用紙の大きさは、日本産業規格Ａ列４番とすること。

　２　記載事項が多いため、この様式によることができないときは、適宜用紙（大きさは日本産業規格Ａ列４番とする。）の枚数を増加し、この様式に準じた申請書を作成すること。

　　　また、変更前の条文と変更後の条文を対比表とすることが困難な場合には、対比表の形式によらないことも差し支えないこと。

３　この申請書には、社会福祉法施行規則第３条第１項各号に掲げる書類を添付するとともに、当該定款変更の内容に応じ、同条第２項又は第３項に規定する書類を添付すること。

(様式第２)　　　　　　　　　  **記 載 例**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 社会福祉法人定款変更認可申請書*（届出書）* | | | | |
| 申  請  者 | 主たる事務所の所在地 | 大分県○○市○○一丁目２番地３４ *（←法人登記簿の記述と一致）* | | |
| ふりがな  名　　　称 | ○○ふくしかい  社会福祉法人　○○福祉会 | | |
| 理事長の氏名 | ○　○　○　○ | | |
| 申 請 年 月 日  *（届出）* | | 令和○○年○○月○○日 | | |
| 定  款  変  更  の  内  容  及  び  理  由 | 内　　　　　　　　　容 | | | 理　　　由 |
| 変更前の条文 | | 変更後の条文 |
| (目的)  第１条  ⑴ 第一種社会福祉事業  　知的障害者入所更生施設  　○○園の設置経営  *※変更箇所は下線を入れてください。*  (経営の原則)  第３条  　　この法人は、社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を確実、効果的かつ適正に行うため、自主的にその経営基盤の強化を図るとともに、その提供する福祉サービスの質の向上並びに事業経営の透明性の確保を図るものとする。  (資産の区分)  第18条  ２　基本財産は、次の各号に掲げる財産をもって構成する。  ⑴～⑶ 省略  *※関係条文・条項以外は、紛らわしくなるので出来るだけ記載を省略してください。* | | (目的)  第１条  ⑴ 第一種社会福祉事業  　 障害者支援施設の経営  ⑵ 第二種社会福祉事業  　障害福祉サービス事業の経営  (経営の原則)  第３条  　　この法人は、社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を確実、効果的かつ適正に行うため、自主的にその経営基盤の強化を図るとともに、その提供する福祉サービスの質の向上並びに事業経営の透明性の確保を図り、もって地域福祉の推進に努めるものとする。  **※変更理由のうち、事務所所在地の変更、基本財産の増加、公告の方法の変更のいずれかのみの場合は、届出で可。本様式の標題部分「認可申請書」を「届出書」に、また「申請年月日」を「届出年月日」に適宜書き替えのこと。**  (資産の区分)  第18条  ２　基本財産は、次の各号に掲げる財産をもって構成する。  ⑴～⑶ 省略  ⑷ 大分県○○市○○町2番地34  所在の○○作業所　敷地  761.34㎡ | 事業目的の追加  (障害者自立支援法の施行による新体系事業への移行)  定款例に沿った条文整理  基本財産の追加 |